

団体名	自然と文化の森協会		
団体の所在地	尼崎市	代表者名	内田 大造

1. 事業名	猪名川自然林サポータークラブ
2. 実施期間	2009年5月31日～2010年1月10日
3. 主な実施場所	猪名川風致公園、猪名川公園、尼崎市園田地区会館
4. 活動形態	実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①. サポーター講座(6回)の実施 自然林保全・管理講座&amp;現地での保全作業、観察会を実施し、中高年の市民を中心に小中学生も含めてのべ240名が参加した。</p> <p>②. 定例の保全管理活動の実施(毎月2回) トウネズミモチの伐採・斜面への土止め設置・植樹などの保全管理作業の実施し、サポーター講座参加者が毎回10名程度参加し活動をおこなった。</p> <p>③. キッズサポータークラブ(小中学生)の実施(毎月1回) 保全作業への参加、自然体験活動(生き物探し・観察、クラフト作り、木の葉遊び など)を実施し、毎回小中学生15名程度と保護者5名程度が参加し、自然との触れ合い・親子の触れ合いを楽しんでもらった。</p> <p>④. 猪名川自然林のゴミ拾い(毎回の活動時)</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>猪名川自然林を暗い森にしているトウネズミモチ(要注意外来種)の伐採をおこない、エノキ・ムクノキなどの苗木を育てての植樹などを実施した。トウネズミモチの2/3程度を伐採することができ、猪名川自然林を「エノキ・ムクノキ主体の四季の感じられる明るい森に」という行政・地域住民・学識経験者の合意のもとで確認された尼崎市の「猪名川自然林保全懇談会 答申」方針の具体化に近づくことができた。同時に、兵庫県のレッドデータブックにもなるエノキ・ムクノキ林の保全再生に向けての大きな一歩をふみ出すことができた。</p> <p>子ども達(小・中学生)のキッズサポータークラブの実施によって、子ども達の自然体験の場を提供し、親子のふれあいの場としても好評で、地域に根ざした息の長い活動として保全管理活動を実施できる大きな足がかりとなった。</p> <p>また、3小学校から兵庫県が実施している小学校3年生の環境体験事業の依頼を受け実施し、活動の地道な継続の大切さを改めて確認した。</p>
7. 成果物	

8. 活動写真・説明		
		
県のレッドデータブックに載る 猪名川自然林	サポータークラブの講座で学習	親子で木の实クラフト作り